



議会議会 だより

80号

令和7年
11月19日発行

もくじ

- 臨時会・全員協議会・
定例会・委員会報告 … 2
- 議員5名の一般質問 …… 11
- 議会活動報告 …… 14

発行／設楽町議会 編集／広報委員会
〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地
TEL 0536-62-0532 FAX 0536-62-1675
E-mail: gikai@town.shitara.lg.jp

第1回 臨時会 (7月)

7月1日に開催し、議案1件を審議、採決を行いました。

- ・工事請負契約の締結について（道路改良工事：町道田峯東区田内線）

第3回 全員協 議会(8月)

8月20日に全員協議会を開催し、協議事項1件を審議しました。

- ・ふるさと納税の進捗状況について

- ☐ 商品開発等を民間委託し、新規事業者の開拓や返礼品目の増に取り組んでいる。
- ☐ 本年度の寄付額は5,000万円（前年度比3,400万円増）を見込んでいる。

第3回 定例会 (9月)

9月2日から9月24日までの23日間の会期で開催しました。初日は議案の上程、説明及び各委員会への付託を行い、9日は5人の議員による一般質問がありました。11日に決算特別委員会（総務建設委員会所管分）及び総務建設委員会、12日は決算特別委員会（文教厚生委員会所管分）及び文教厚生委員会、17日に設楽ダム対策特別委員会を開催しました。最終日（24日）は各委員会に付託された議案の審議の結果報告と採決、追加上程された議案の審議・採決を行いました。

件名	結果
報告 専決処分の報告について (田口公衆トイレでの国家賠償法による損害額の決定) 令和6年度健全化判断比率及び資金不足比率について	特に意見等なし
同意 教育委員会委員の任命	伊藤昭広氏 → 全員賛成で同意
田口財産区管理会委員の選任 段嶺財産区委員会委員の選任 名倉財産区管理会委員の選任 津具財産区管理会委員の選任	各財産区7名選出 ⇒ 全員賛成で同意
監査委員の選出 / 1件	依田忠士氏 → 全員賛成で同意
議案 ① 設楽町議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について ② 設楽町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について ③ 設楽町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について ④ 設楽町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について ⑤ 設楽町火入れに関する条例の一部を改正する条例について ⑥ 設楽町下請等共同作業所条例の廃止について	全員賛成で可決
令和7年度補正予算 一般会計、6特別会計、2公営企業会計 / 計9件 一般会計(第3号)、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、つぐ診療所特別会計、段嶺財産区特別会計、名倉財産区特別会計、津具財産区特別会計(第1号)、簡易水道事業会計、下水道事業会計(第1号)	全員賛成で可決
令和6年度歳入歳出決算の認定 一般会計、8特別会計及び2公営企業会計 / 計11件 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療保険特別会計、町営バス特別会計、つぐ診療所特別会計、田口財産区特別会計、段嶺財産区特別会計、名倉財産区特別会計、津具財産区特別会計、簡易水道事業会計、下水道事業会計	一般会計、国民健康保険特別会計の2件 ⇒ 賛成多数で認定 その他の9件 ⇒ 全員賛成で認定

件名	結果
請願 設楽町段戸沖ノ平・駒ヶ原の自然と暮らしを守る条例制定を求める請願 (請願者：沖駒区長、副区長)	賛成 2 趣旨採択 7 趣旨採択
陳情 高額医療費の自己負担引き上げの撤回を求める意見書の提出を求める 発議 陳情書 (陳情者：愛知県社会保障推進協議会長)	全員賛成：意見書提出
定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び 拡充を求める陳情書 (陳情者：北設楽郡教職員組合執行委員長)	全員賛成：意見書提出
要望 設楽町独自の授業料等支援制度の継続・拡充に関する要望書 (要望者：愛知県私立学校教職員組合連合私学をよくする愛知父母懇談会)	賛成 2 趣旨採択 7 趣旨採択
選挙 選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙	委員 4 名 承認 伊藤公一氏、佐々木幸一氏、 後藤誠氏、金田光代氏 補充員 4 名 承認 後藤禎光氏、夏目正徳氏、 本田一郎氏、佐々木博美氏
議案 設楽町過疎地域持続的発展計画の変更について	全員賛成で承認
財産取得契約の締結について / 2 件 (小中学校教育ICT学習用端末機器使用賃貸借、小中学校教職員用端末リース業務)	全員賛成で承認
設楽町使用料条例の一部を改正する条例について (下請等共同作業所の項を削る。)	全員賛成で承認

採決の分かれた議案 (2 件)

件 名	村松 一	村松 純	原田 純	七 原	加 藤	今 泉	山 口	田 中	原田 直
一般会計	○	○	○	○	○	○	○	×	○
国保特別	○	○	○	○	○	○	○	×	○

採決の分かれた請願、要望 (2 件)

件 名	村松 一	村松 純	原田 純	七 原	加 藤	今 泉	山 口	田 中	原田 直
請 願	趣旨採択	趣旨採択	採 択	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	採 択	趣旨採択
要 望	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	趣旨採択	採 択	趣旨採択	趣旨採択	採 択	趣旨採択



▲ 東三河市町村議会議長協議会 愛知県への陳情活動

令和6年度 決算認定

会計区分	歳出額	前年度比
一般会計	60億5,404万円	6.6%
特別会計(8会計)	9億1,479万円	0.2%
公営企業会計(2会計)	20億3,864万円	7.2%

町民の暮らし・福祉をささえ、町政上の課題を解決することが求められている。ダム問題 移住定住対策 国保料 獣害対策 学校給食の全額無償化などの問題点や課題は、前進や改善がなかった。

地質の悪さにより、ダム本体工事は遅れ、設楽ダム関連事業の達成は不可能となっている。人口は2年後に3,800人を切りそうな状況である。

国保料は上がる一方で、耐え難い高額保険料になっている。保険料抑制のため一般会計からの繰り入れは行われず、移送サービスの基本料金500円はそのまま。学校給食の無償化は半額補助のままに終わっている。

田中邦利議員
反対

村松純次議員
賛成

討論
〔一般会計〕

予算執行において、大きな逸脱や無駄遣いは見られないこと。

また、監査委員による評価も健全化判断比率も健全であること、その他、基金の運用、アウトドアの町創りやふるさと納税への取り組み、DX化による職員自らアプリを創り運用するなど、すぐに成果は見えないが【次世代の未来に繋がる町づくり】が行われていることを評価する。

最後に人口減少、高齢化が進む中、医療福祉や公共施設の維持管理の見通しについてより具体的な計画を立てることや、住民の意見を取り入れ町政の内容をより町民にわかりやすくすることを要望し賛成意見とする。

決算の質疑

あれこれ

総務建設委員会

決算特別委員会に付託された令和7年度一般会計・8特別会計・2公営企業会計決算の質疑を行いました。

9月11日 総務建設委員会所管分の質疑	一般会計	70件
	4特別会計	0件

■ 主な質疑の内容

財務書類を作成し職員向け報告会開催

Q 財務書類作成による成果は。

A 他町村と比較することで、設楽町の財政状況が明確化された。

集会施設の固定資産台帳をカルテ化して作成

Q 集会施設のカルテをホームページ上に公開してはどうか。

A 公開していきたい。

田口高校お仕事フェア開催

Q 参加企業へ就職をされた方の人数は。

A 6回開催した中で、就職されたのは1人である。令和6年度は8事業所が参加(パンフレット掲載のみが4事業所)。「お仕事フェア」は、将来的に町へ戻ってくる人材を増やすことを目的としている。

木質バイオマスストーブ等購入設置費補助金

Q 町の森林資源活用を目指す趣旨から離れて、薪やペレットが町外から購入されている。補助の見直しが必要ではないか。

A 燃料の調達実態を把握し、改めて検討する。

空き家バンク

Q 令和7年4月、建築基準法が改正されリフォームの建築確認や断熱基準が厳しくなった。空き家バンク希望者に事前の注意喚起が必要ではないか。

A 法改正に対応して適切な情報提供に努める。

全職員を対象にストレスチェック実施

Q ストレスチェックの成果を伺う。

A ストレスチェック実施職員数117名の内、18人が高ストレス者で、その内、2名が医師の面接と指導を受けた。

業務委託

- Q 業務委託が多いが、専門職員を採用することは可能か。
- A 専門職員の採用は可能だが、町の財政規模の中で適正かを議論する必要がある。

女性管理職の登用

- Q 設楽町の課長・課長補佐のうち、女性の登用は何人か。
- A 課長職は令和6年度1人、令和7年度1人。補佐職は令和6年度2名、令和7年度4名。

ダム本体工事の進捗状況

- Q 今年を含めたダムサイトの3年計画の掘削工事は順調に進んでいるか。
- A 順調に進んでいると聞いている。

WRC(世界ラリー選手権)等

- Q 設楽町の魅力を発信して、知名度はどの様に上がったのか。
- A 映像として世界に発信されたこと、観客数が増えたことで認知度が少しずつ高まっている。

水力発電事業

- Q PFI方式(民間資金等活用事業)を採用しない選択肢はあるか。
- A 長年の検討結果であり、現時点で変更することは考えていない。
- Q 採算性、継続性の見通しはたっているのか。
- A 愛知県肝いりの事業であり、職員派遣も受けているので、心配のない取組みをしていく。

広報したら

- Q 「広報したら」に、町民の声を町に届ける機能(QRコード)を掲載してはどうか。
- A 町のホームページには、メールで意見、要望が届けられる機能がすでにある。

JA愛知東農協結婚相談所

- Q 結婚相談所の利用者について。
- A 令和6年度は、設楽町では1人である。婚活イベントは年に3回、結婚相談日は隔週土曜日に開催され、設楽町からはトータルで6名が参加。

農業用使用済みプラスチック回収事業

- Q マルチ等を年1回(2月頃)、農協で回収しているが、廃棄時期と回収時期が異なっていること、回収時、きれいに畳んで廃棄することなどの制約があり、一般ごみで廃棄するケースが増えている。回収時期の変更と条件の緩和を農協に働きかけていただきたい。
- A この事業は町、農協、県の補助金によって実施されているので、農協へ課題をお伝えし検討する。

住宅地への防護柵設置補助

- Q 鹿等による被害は、農地から住宅地への食害の拡大と、ヤマビル等の生息域も広がっている。従って集落全体や家屋の周辺への柵や網の設置に対しても補助対象とする事を望む。
- A 現行では補助の対象は農地に限られている。農地以外を対象とする補助制度の創設は今後、検討を要する。

商工業活性化補助金・企業支援

- Q 令和6年度の補助金・支援金対象事業所は4社あるが、対象となる条件とは。
- A 商工会加入が補助金・企業支援を受ける条件となる。また、起業希望者は「奥三河創業塾」で経営を学びつつ、創業を進める仕組み。

設楽町観光協会の法人化

- Q 一般社団法人として1年が経過したが、収益高を伺う。
- A 法人化されてから1年間の収益は約40万円である。
- Q 町が観光協会に補助を続ける用途は。
- A 地域に根差した旅行業としてツアーを組み、周辺事業者が儲かる構想を構築中で、自立を促しつつ、可能な限り援助する方針。

田峯城法面補修工事

- Q 令和6年度、法面補修工事をし、令和7年度にも法面工事をすると聞かすが、その理由は。
- A 令和5年に法面に被害が発生し令和6年度に補修改修工事を行ったが、令和7年2月、補修箇所が再度崩れた為、今年度中に補修する予定。

道路改良・平野清崎線

- Q 道路詳細設計業務委託2000万円、立木調査業務委託440万円であった。では、道路建設工事費の概算は。
- A およそ700mで10億円を見込んでいる。10億円はトンネル部分のバイパス化、岩盤部分の掘削、危険なルートの開削、諸費用の高騰などによるものであり、工事費の5割を国庫補助金、残り5割の内8割を水特負担金で賄う予定。
- Q 平野清崎線は特別の役割を担っているのか。
- A したら道の駅からダムサイトを経て田口へ通じる散策路としての役割を担う道路としての機能を持つ。

消防団活動維持・運営事業

- Q 各分団の消防団員が減少している中で、ポンプ自動車1台を、何人で維持管理されているのか。
- A 1台当たり4.5人の配置となる。

災害対策・避難所

Q 避難所での1人あたりの専用スペースを政府は3.5㎡とし、50人に一基のトイレを用意するよう明記した。設楽町の避難所はこの基準を満たしているか。

A 設楽町は避難所での専用スペース、1人6㎡を全避難所で確保。トイレは未把握だが、ポータブルトイレ・段ボールトイレは対応可能。

- Q 1年、2年という長期的な避難所の利用をお考えか。
- A そこまでは想定していない。
- Q 避難所にはエアコンが必須と思われるが、現状を伺う。
- A すべての熱中症対策に対応することは現状では難しい。

総務建設委員会

令和7年9月11日(木) 開催 / 付託された議案10件

付託された議案はすべて全員賛成により可決すべきものと決しました。

■ 主な質疑 火入れに関する条例改正

Q 火入れとは、ポタ焼や山焼き等を指すが、届け出件数は。また届出時の町、消防の対応は。

A 届け出はない。情報を共有して有事に備える。

決算の質疑

あれこれ

文教厚生委員会

9月12日 文教厚生委員会所管分の質疑

一般会計	46件
3 特別会計	1件
2 企業会計	4件

■ 主な質疑の内容

田口新城線・田口津具線の維持

Q どれも赤字路線であるが、基幹交通路線として今後も維持されるか。

A 田口新城線への補助金は残り3年で終了する見込みであり、継続の形態は検討が必要だが、路線は維持する方針である。ちなみに「バスに乗って豊川のイオンモールへのお買い物ツアー」「乗車体験」などの取組みも行っている。

生活交通路線維持費補助金の算定基準

Q 田口新城線の維持費補助金の算定基準を教えてください。

A 豊鉄バスの収支が赤字の場合、新城市と距離に応じて按分する。また、平均乗車密度が5人を下回る場合、不足分を補う額を新城市と按分する。按分率は設楽町が23.43%、新城市が76.57%となる。

免許証返納者サポート補助金

Q 免許証を返納した年から一年間に限り、バスの定期券を購入された方に1万5,000円の補助があることを、制度の利用促進のために、広く周知していただきたい。

A 実績として、バスの定期購入者は令和6年度年度は0人であった。

認知症カフェ

Q どの地区で何回「認知症カフェ」が開かれたのか、また、その成果を伺う。

- A 生活サポートセンター名倉にて6回実施された。来年度からは「愛厚清嶺の風」も再開の見込み。成果としては当事者を介護するご家族が、共通の課題を分かち合うことにより、心が楽になったこと。設楽町全域に「認知症カフェ」を展開していきたい。

平和祈念式典

Q 設楽町は平和宣言をした町でもあり、原爆パネル展の再開を望む。

A 来年度以降、平和の尊さ・戦争の悲惨さを伝える一つとして、候補に入れる。

介護人材確保事業の実情

Q 各事業所のヘルパー不足は深刻であり訪問介護事業所が瀬戸際に立たされているが、打開策は？

A 10月から広域連合主催で介護福祉入門講座を設楽町で開催するが、ヘルパー不足解消に繋がるには効果が不十分であり、現状では社協の訪問介護事業が担い手不足で継続困難になるリスクもあり得る。成果として、東三河広域連合と民間企業が共同で実施する「介護人材活用促進事業」を通じて資格取得後、2名が町内の訪問介護事業所に就職、1名が町内のデイサービスセンターで勤務している。

Q 介護職員の給与に上乗せされる「処遇改善加算制度」を取り入れている近隣の自治体はあるか。

A 東栄町、豊田市は処遇改善加算制度に取り組んでいる。町として社協に導入を働きかける。

介護サービスの地域間格差

- Q** 町は年間1億2300万円の負担金を東三河広域連合に支払っている。その為、広域連合は中山間地域の居宅介護に注力する方針を示しているが、人材不足によりサービスの質の低下を招いている。都市部とのサービス格差（夜間対応など）を是正するため、保険料に差を設ける考えを伝えてはどうか。
- A** 広域連合では地域間格差を考慮して、さまざまな補助金・離島等サービスなどを適用できるように努力している。しかし保険料を支払う側としては切実な問題なので、提案できるよう勉強していきたい。

老人クラブの方向性

- Q** 清掃、奉仕作業ばかりではなく、楽しんで集える様な活動内容の見直しを。
- A** 高齢者福祉計画の内容に反映していきたい。また、補助金については、柔軟で使い易い制度への見直しをしたい。

配食サービス事業

- Q** 配食サービス事業が見守りの役割を担った事例は。
- A** 救急車を要請する事案等があった。

不妊治療助成

- Q** 不妊治療について卵子と精子の凍結保存は助成の対象となるか。
- A** 治療の一環として医師が必要と判断した凍結保存は補助の対象となる。

人口問題

- Q** 町内の出生者数の現状と今後の見通しは。
- A** 令和6年度出生者数6名、令和7年度は現在まで9名、令和2年以降は十数名で推移していたが令和6年度から1桁に減少。今後は緩やかな右肩下がり減少する。

田口清嶺保育園の駐車場

- Q** 駐車場改善への進捗状況は。
- A** 内部の検討段階に留まっていて、具体的な改善計画には至っていない。

ごみ処理場の混雑

- Q** 一般ごみの収集車が優先されるため、住民が持ち込むごみが混雑して搬入が滞っている。効果的な方法はないか。
- A** 第2日曜日の住民のごみの持ち込みについては朝の時間を早めたが、平日の朝については、伊賀市へのごみ運搬作業があり、現状では受け入れ時間帯の拡大は難しいが改善策の検討はしていく。

ごみ処理広域化施設

- Q** 新城・北設ごみ処理広域化施設計画の進捗状況は。
- A** 17の候補地の中から「クリーンセンター」を施設候補に挙げているが、現在は関係市町村で基本構想を策定している段階である。

ごみ分別アプリ

- Q** 3R（ごみ分別）アプリの普及率は。
- A** 北設3町村で529件、根羽村56件である。

合計特殊出生率の低下

- Q** 令和6年度の町内での出生率は0.52%と著しく低下したが、その受け止めを伺う。
- A** 子供を産んで安心安全に育てられる支援の仕方、環境整備に力を入れて出生率向上を図る対策を講じたい。

奥三河郷土館

- Q** 令和6年度の入館料収入は73万7,380円であったが、大人と子供の内訳を伺う。
- A** 大人2,291人、子供126人、障がい者71人である。
- Q** 入館料の是非について2方向の意見があるが、入館料のあり方についての見解を伺う。
- A** 子供は「ほの国パスポート」を利用すれば無料で入館できる。無料週間になれば多くの方に入館していただいているが、入館料を支払ってもいいと思っていただける様、魅力を向上させていきたい。

ICTとアナログ学習

- Q** 学力向上には、パソコン・タブレットなどのICT器機と従来型の紙媒体との併用が望ましいと考える。
- A** 校長会などでは、ICTとアナログの長所を生かした教育の重要性を共有しているので、時間をかけて検討していく。

国民健康保険料の高騰

- Q** 国民健康保険特別会計は市町村と県で運営されているが、保険料が余りに高騰して住民を苦しめている。保険者として、加入者を守るために県が財源を繰り入れて軽減に努めるべきだと提言して欲しい。
- A** 負担者視点を念頭に置いて、様々な会議に臨みたい。

上下水道の広域化

- Q** 財政面を考慮しても、上下水道事業を、町単独運営から広域化に舵を切る時期に来ているのでは。
- A** 東三河の各自治体の足並みが揃わないのが現状である。
- Q** 水道管の破損事故など、様々な修復をするための情報が必要だが、設楽町では管路図はどこまで完成しているのか。
- A** GISシステムを使い、1年ごとに管路図を反映させている。

文教厚生 委員会

令和7年9月12日(金) 開催 / 付託された議案6件、請願1件、陳情2件、要望1件

付託された議案6件はすべて全員賛成により「原案のとおり可決すべき」と決しました。請願1件は「趣旨採択すべき」と決しました、陳情2件は「採択すべき」と決しました。要望1件は「趣旨採択すべき」と決しました。その他1件の報告があった。

■ 主な質疑

令和7年度設楽町一般会計補正予算

Q コロナワクチンの接種状況及び予算減の理由は。

A 355名、自己負担額の増による接種人数減を見込んだため。

設楽ダム 対策特別 委員会

令和7年9月17日(水) 開催 /

所掌事務の調査を行いました。

設楽ダム建設事業、関連事業の進捗状況について、国土交通省と愛知県から説明を受け、その後、新松戸橋、JV宿舍増設部分の現地視察を行った。

■ 主な質疑

県道和市清崎線

Q 塩津温泉付近の家屋調査の状況はどうなっているか。

A 6月から7月にかけて実施済みである。

Q 少しの間でも通らせてほしいという声や意見は出ていないか。

A そういった声が上がっていることは認識しているが、複数同時箇所では切れ目なく工事を行う事で、早期完成を目指すという判断をした。

ダム本体工事

Q 設楽大橋付近のナイター工事内容は。

A 本体掘削土を運んで道路用の盛土作業を進めている。

Q ダム本体の概算要求額は。

A 昨年同様162億少々となっている。

Q 本体掘削作業の進捗状況と、掘削土の搬出計画は。

A 掘削は2～3割落とし土が進んでいる。運搬は、延坂、川向の盛土に100万m³弱を夜間も含めて運ぶ予定。しかしここだけでは済まないで山村都市交流拠点施設予定地を含めて調整中。今の所令和9年度には掘削を終わらせる形で進んでいる。

国道420号、足助バイパス

Q 県として用地買収が出来ない、16年経っても同じ話で全く進んでいないが状況はどうなっているのか。

A 事業が進んでいないことは事実、地元の方の理解が得られず路線測量すらできない、できないため公安協議などの手続きも進んでいない。早く進むようそういった声があることを豊田加茂建設事務所へ伝えていく。

Q 別ルートの検討などはされていないのか。

A 随時行っているが別ルートを示しても理解いただけない状況、今後も別ルートの検討の余地はあると考える。

町長 本来令和2年には開通していなければいけない話、今の時点でこんな話はおかしい、ダムの確約事項でもあるので、きちんとしたものを大至急お示しいただきたい。

A しっかり理解させていただきました。

山村都市交流拠点施設

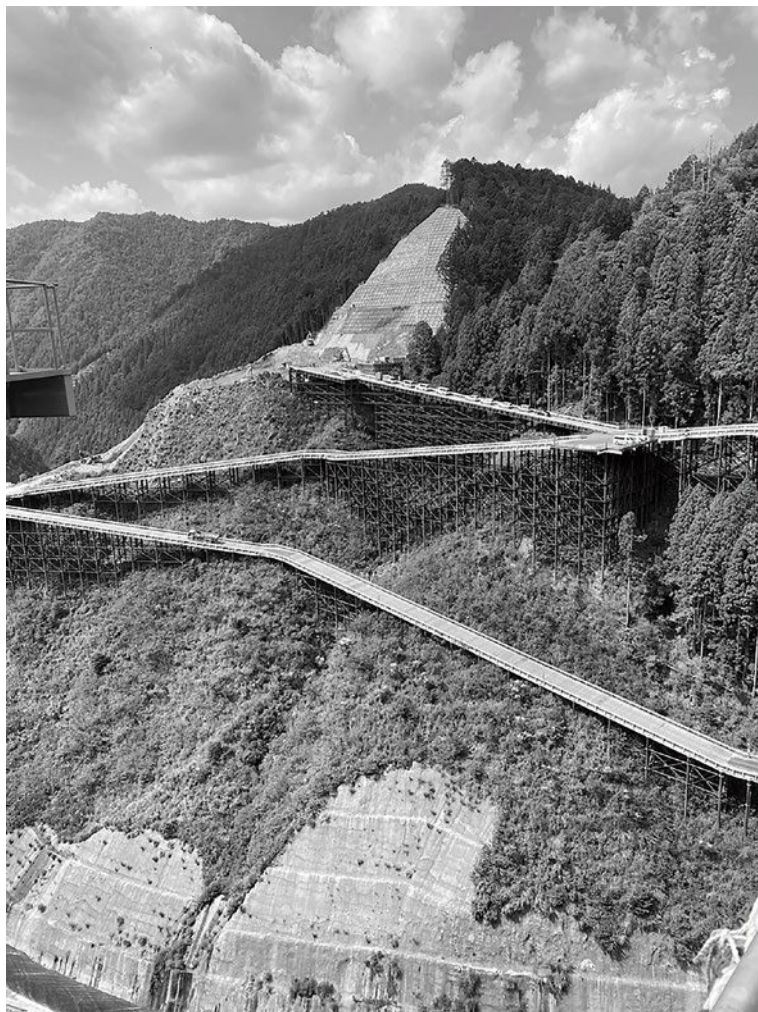
Q 埋立用地が確定しないと、計画が進まないと思うが、見通しはどうなっているか。

A ダム本体工事時にヤードとして使いたい話がある、10年～11年までには完成したい。

Q 8年までに完成して、バスも入って見学もできるようになると理解していたが、どうお考えか。

A 現場の見学はシウキトンネル下流の開けた土地を考えている、8年度予算が付き次第そちらへ導くルートを部分的に共用したいと思っている。

新松戸橋から工事現場遠景 ▶



◀ 新松戸橋



▲ 合併20周年記念式典

全国町村議会議長会 自治功労者表彰受彰



令和7年2月5日、設楽町議会議員として27年以上在籍し、地域の振興発展や住民福祉の向上に顕著な功績があったとして、山口伸彦議員に全国町村議会議長会から自治功労者表彰を受彰されました。

小中体育館等の空調(エアコン)設備の早期設置を

質問 中学校の特別支援教室(1室)に空調設置されていないが。

教育課長 扇風機やスポットクーラーで対応。又は空調設置の場所に移動。

質問 特別支援教室には、いつまでに設置するか。

教育課長 来年の当初予算で対応する。

質問 体育館等のエアコン設置と断熱工事は。

教育課長 避難所に指定されている体育館等は補助制度を活用しながら進める。

教育課長 まず中学校体育館から来年度予算に盛り込んでいく。

プレミアム付き商品券の年間販売できないか

質問 令和2年度からの販売実績の提示を。

産業課長 【資料提示】設楽町プレミアム付き商品券 年度別販売実績一覧表

年度	購入上限額(円)	販売数(冊)	発行総額(円)	購入者数(名)
2	50,000 [10冊]	20,000	120,000,000	1,753
3	50,000 [10冊]	20,000	130,000,000	2,562
4	50,000 [10冊]	30,000	180,000,000	2,150 (町外購入248)
5	100,000 [20冊]	30,000	195,000,000	2,023
6	50,000 [10冊]	20,000	130,000,000	2,101
7	50,000 [10冊]	30,200	196,300,000	

※
(R2、R4)
500円商品券 12枚1冊
(R3、R5～7)
500円商品券 13枚1冊
町内在住・在勤・在学者購入可

質問 年間又は半期を2回実施し、利用者へ利便性の向上を図らないか。

産業課長 複数回数の場合は、販売受付、実績管理、換金事務等の煩雑化がデメリットであり考えていない。

町長 経済効果が2倍になるとは限らないので実施は難しい。



加藤 弘文 議員



QRで動画で見よう!

設楽町平和祈念式典について

質問 戦後80年。戦争の悲惨さや平和の尊さをどうつないでいくのかが問われている。設楽町は昨年、平和祈念式典を毎年開催すると公式答弁しながら、なぜ開催しないのか。

町長 変更を説明しなかった点はお詫びする。町の財政や仕事のスリム化を検討した結果、式典は隔年開催とし、間となる本年は開催を予定しなかった。しかし、町としてできることは一生懸命やる認識で再検討する。

質問 昨年の式典は、参加総数約50名。成果目標の「全町民による開催」とはほど遠いと感じた。設楽町平和宣言に恥じない式典とするための今後の対策を問う。

町民課長 式典については、多くの町民が参加できるよう、工夫をして進める。

意見 戦争の惨禍と平和の尊さを学び、考える祈念式典は、毎年開催されるべきである。

設楽町の田口高等学校の魅力化対策に対するさらなる支援について

質問 田口高校は募集定員に満たない状況が続いており、魅力化をさらに町が支援するとともに、県にも存続の必要性を伝え、予算も含めて強く要望していく必要があると考えるがどうか。

町長 先日、県への総合要望の中で、田口高校の存続、魅力化について強く要望した。東三河ビジョンの確実な実施も含め、高校と連携して進めたいと考えている。



村松 一徳 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

令和6年度きららの森整備構想・整備事業について

要旨 水源地域整備計画に基づき令和5年度、国有林野（段戸湖を含む）4万1260㎡を町が578万円で購入し、整備構想が示された。

質問 事業費の総額の概算は。

産業課長 令和8～9年度の事業費は約3億円を見込んでおり、設楽ダム水源地域整備事業の財源を充当予定。

質問 原生林きららの森にキャンプサイト・宿泊サポート施設を造る構想があるが、歴史的・学術的価値のある森にそれらを造る必要性はなく、すでにあるきららの里がその役割を担っている。

産業課長 現段階ではキャンプサイトで火を使うことや利用者を宿泊させる施設にする考えはない。

質問 町は事業性と投資効果のある整備を目指しているが、きららの森に資本主義の論理、経済的効果を持ち込むのは間違いではないか。

産業課長 原生林の素晴らしさを知るためには、安心安全な施設と環境が必要である。

質問 施設を含めたきららの森の運営権を民間事業者に委託するのではなく、運営可能な適正規模で町が運営することが、水源地域を守ることではないか。

産業課長 町とともにきららの森を守る理念のある民間企業者のノウハウを活かした運営をして頂きたい。

意見 運営権の民間譲渡が水源地をリスクにさらす始まりの可能性を危惧する。



原田 純子 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

特産センターカギ管理 スマートロックの導入検討

質問 無人化に批判の声がある。利用者との話し合いはできているのか。

産業課長 方針決定後、周知に努めてきたが、利用者の意見聴取や話し合いは行っていない。

質問 コミュニティープラザのように任意団体を置いて管理する方法はどうか。

産業課長 任意団体が特産センターへ移ることは検討の余地はあるが、慎重に進めたい。

質問 近所にカギを預ける方法は？ 「暗証番号式スマートロック」方式の採用は。

産業課長 カギの預かりは、施設の利用が多く、お願いしにくい。スマートロックについては、有効であれば導入を検討したい。



▲ リモートロック



田中 邦利 議員



QRで動画で見よう!

育休退園の見直しを

質問 「育休退園制度」の概要は。

町民課長 下の子の出産で育児休暇を取得すると、家庭での保育が可能であるとの判断で保育園に預けている年上の子供が退園となる

質問 保護者の育児休業の期間内でも、通園できるようにすべきだ。

町民課長 子育て環境の向上が求められるので、園児が引き続き入所できる体制を整える必要があると考える。

質問 育休退園制度を廃止する市町村が増えている。当町でも廃止すべき。

町民課長 未満児については家庭での保育が可能な場合、上のお子さんの退園をお願いする。3歳未満のお子さんは待機児童がない場合は続いて通園することとする。

国民健康保険の運営は

質問 県は、令和17年度までに県下の市町村の保険料を統一するとのことであるが、どのように行っていくのか。

町民課長 2段階で統一する予定で、町から県へ納める納付金を医療費水準に関係なく算定した後、保険料が統一されることになっている。

質問 令和3年度1人当たり7万8,000円の保険料が、令和7年度12万円と5割近くと大幅な値上となっているが、基金の繰入れをどのように考えていくのか。

町民課長 基金の繰入れは、保険料の上昇幅に連動した基準はもっていないが、大幅な値上げにならないように繰入れていく。

質問 令和4年度までは99%前後であった保険料徴収率が、令和6年度では96%、金額にして400万円弱となっている。どのような対策を行っているのか。

町民課長 大口の滞納は、東三河広域連合に委託し差し押さえを含めて徴収をしている。小口の滞納は、分納等で少しでも納めていただけるように窓口で対応している。

ディサービスしたらの運営は

質問 令和7年度のディサービスしたらの運営は赤字が予想され、補助金を支出するとのことだが、令和8年度以降はどのようにするのか。

町長 業務の改善は必要性を感じ指導も行っていくが、やすらぎの里として養護老人ホームとディサービスしたらの指定管理をお願いしている以上、赤字の補填は仕方ないと考えている。



原田 直幸 議員



① スマホで撮って



② 議会動画へ

QRで動画で見よう!

12月定例会 の日程(予定)

場所：設楽町役場 議場
時間：午前9時から

12月3日(水) 開会・一般質問・提案説明

12月9日(火) 総務建設委員会

12月11日(木) 文教厚生委員会

12月16日(火) 設楽ダム対策特別委員会

12月23日(金) 委員長報告・討論・採決・閉会

(設楽ダム対策特別委員会は午前9時30分から) (日程は変更になることもあります)

7月

1日 議会運営委員会

臨時議会

活性化委員会

7日 水辺で乾杯

11日 東三河市町村議会議長協議会定期総会
(蒲郡市)

13日 議長杯ゲートボール大会

15日 東三河市町村議会議員・
議会事務局職員合同研修会(豊橋市)

22日 例月出納検査

25日 北設楽郡町村議会正副議長会・
事務局長合同会議(豊根村)

28日 決算審査

29日 決算審査

30日 決算審査



8月

4日 議会運営委員会

5日 活性化委員会

6日 東三河広域連合定例会(第1日)(豊橋市)

7日 北設楽郡町村議会議員研修会(豊根村)

12日 東三河広域連合定例会(第2日)(豊橋市)

18日 愛知県町村議会議長セミナー(名古屋市)

20日 議会全員協議会

リニア中央新幹線建設促進
愛知県期成同盟会総会(名古屋市)

22日 北設楽郡町村議会正副議長会・
事務局長合同会議(豊橋市)

24日 設楽町商工会長杯争奪ゲートボール大会

28日 例月出納検査

県道和市清崎線事業促進要望、
現地調査及び総会

29日 議会運営委員会

議会活動報告



9月

2日 議会定例会(第1日)

決算特別委員会(第1回)

決算特別委員会(第2回1日)

3日 愛知県への総合要望(名古屋市)

5日 議会運営委員会

9日 議会定例会(第2日)

決算特別委員会(第2回2日)

11日 決算特別委員会(第2回3日)

総務建設委員会

12日 決算特別委員会(第2回4日)

文教厚生委員会

17日 設楽ダム対策特別委員会

19日 議会運営委員会

20日 田口小学校、清嶺小学校、名倉学園、
津具保育園・小学校合同運動会

24日 議会定例会(第3日)

26日 北設広域事務組合議会定例会

30日 例月出納検査



広報編集委員 村松純次 村松一徳 七原剛